

製造業及び小売業の景況感が悪化！ 製造業は先行きも改善の見通しなく厳しい状況がつつく！

— 2016年1月～3月期 中小企業景況調査報告書概要 —

日銀が4月1日に発表した3月の企業短期経済観測調査（短観）によると、企業の景況感を示す業況判断指数（D・I）は、大企業・製造業で前回12月調査（プラス12）から6ポイント悪化しプラス6となっている。新興国の減速などによる先行きの不透明感に加え、円高が進んで輸出企業の収益が圧迫されていることが響いた。大企業・非製造業もプラス22と前回（プラス25）から3ポイント悪化している。訪日外国人によるインバウンド消費の伸びが鈍ったほか、暖冬などの影響で個人消費も弱く、宿泊・飲食サービスや小売りなどが落ちこんだ。中小企業・製造業はマイナス4となり、前回12月調査（±0）から4ポイント悪化、非製造業は12月調査（プラス5）から1ポイント悪化してプラス4となっている。

3か月後の先行きの見通し（本年6月予測）は、大企業・製造業がプラス3と今期より3ポイント悪化、大企業・非製造業はプラス17と5ポイントの悪化と予測。中小企業においては、製造業が2ポイント悪化しマイナス6、非製造業は7ポイント悪化しマイナス3となっており、厳しい見込みとなっている。

内閣府が3月23日に発表した3月の月例経済報告においては、国内景気の基調判断を「景気は、このところ一部に弱さもみられるが、緩やかな回復基調が続いている。」から「一部」を削除し、昨年の10月以来5か月ぶりに下方修正した。個別項目では、個人消費を「消費者マインドに足踏みがみられるなか、おおむ

ね横ばいとなっている」に7か月ぶりに引き下げた。企業収益は「改善している」から「非製造業を中心に改善傾向にある」に19か月ぶりに下方修正した。

商工会地域の景況調査においては、今期（2016年1月～3月）の業況に関するD・I値は、マイナス幅が小さい順に、サービス業マイナス15.1、建設業マイナス27.3、小売業マイナス42.5、製造業がマイナス44.8となっている。前期との比較では、建設業のみがマイナス40.9から13.6ポイント改善させている。サービス業、小売業、製造業ともに悪化させ、製造業に至っては19.0ポイントも悪化させている。

来期（2016年4月～6月期）の業況予測については、今期のD・I値の並びと同じで、サービス業マイナス15.7、建設業マイナス27.7、小売業マイナス28.5、製造業がマイナス44.0となっており、小売業だけ今期実績より14.0ポイント改善すると予想している。

今期の商工会地域の景況感は、サービス業や建設業が比較的健闘しているが全体として悪化傾向にある。景気全体の動きとしては、日銀短観や月例経済報告に比べると悪化の度合いが緩やかかもしれないが、製造業と小売業に関しては非常に厳しくなってきた。厳しい環境が続く中、国や県の経済政策等が功を奏して商工会地域での景気が回復傾向になることを期待する。
（中小企業診断士 橋本大輔）

業界天気動向図

項目	売上				採算（経常利益）				資金繰り			
	4 H 5 27 6 年 月	7 5 9 月	10 5 12 月	1 H 5 28 3 年 月	4 H 5 27 6 年 月	7 5 9 月	10 5 12 月	1 H 5 28 3 年 月	4 H 5 27 6 年 月	7 5 9 月	10 5 12 月	1 H 5 28 3 年 月
製造業												
建設業												
小売業												
サービス業												

各項目については次により表示した。

区分	増加	やや増加	横ばい	やや減少	減少	大幅に減少
	好転	やや好転		やや悪化	悪化	非常に悪化
D・I値(前年同期比)	20.1～	5.1～20.0	5.0～△5.0	△5.1～△20.0	△20.1～△35.0	△35.1～
表示	快晴	晴れ	曇り	小雨	雨	豪雨

今期直面している経営上の問題点需要の停滞

（数値の左は前期構成比、右は当期割合を%で記す）

製造業		1位		2位		3位		4位	
1位にあげる問題点	需要の停滞		生産設備の不足・老朽化		原材料価格の上昇		製品（加工）単価の低下、上昇難、製品ニーズの変化		
前期	32.1	32.1	10.7	17.9	7.1	14.3	—	10.7	
今期	32.1	32.1	10.7	17.9	7.1	14.3	—	10.7	
建設業		1位		2位				3位	
1位にあげる問題点	事業資金の借入難		請負単価の低下、上昇難、官公需要の停滞、民間需要の停滞				取引条件の悪化、熟練技術者の確保難		
前期	9.5	19.0	—				14.3		
今期	9.5	19.0	—				14.3		
小売業		1位		2位		3位		4位	
1位にあげる問題点	大型店・中型店の進出による競争の激化		仕入単価の上昇		購買力の他地域への流出、消費者ニーズの変化		従業員の確保難		
前期	17.9	19.0	5.1	14.3	—		11.9	7.7	
今期	17.9	19.0	5.1	14.3	—		11.9	9.5	
サービス業		1位		2位		3位		4位	
1位にあげる問題点	需要の停滞		従業員の確保難		利用者ニーズの変化		大企業の進出による競走の激化、材料等仕入単価の上昇		
前期	18.0	25.0	12.0	15.4	18.0	13.5	—		
今期	18.0	25.0	12.0	15.4	18.0	13.5	9.6		